

成人男子の学歴と生活時間：『昭和51年社会生活基本調査報告』第二次分析(1)

岩木, 秀夫
国立教育研究所

吉本, 圭一
東京大学大学院生

<https://hdl.handle.net/2324/18512>

出版情報：国立教育研究所研究集録. (9), pp.133-141, 1984-10-29. 国立教育研究所
バージョン：
権利関係：



成人男子の学歴と生活時間

——『昭和51年社会生活基本調査報告』^①第二次分析(1)——

岩 木 秀 夫
吉 本 圭 一^②

- I. 『社会生活基本調査』とその再分析の経過
- II. 分 析 の 手 続 き
- III. 分 析 結 果

I. 『社会生活基本調査』とその再分析の経過

1. 再分析のねらい

『社会生活基本調査』は、国民生活に関する統計が就業・雇用や所得・消費などの経済的な面に偏り、余暇活動や文化・健康など広く社会生活全般に関わる面で手薄であったことを反省して昭和51年から開始された指定統計調査（指定統計第144号）である。5年後の56年には、第2回目の調査が実施されている。

この調査が第二次分析の対象として選ばれたのは以下の理由による。

1) 多重クロス分析に耐えられるだけの大量のサンプル数を持っている。第二次分析の対象とした第1回調査に即して言う、調査地域は、全国の352市町村の昭和50年国勢調査区から選定した5,077調査区である。また調査対象は、選定された調査区内の全世帯のうちから選定した約76,000世帯及びその世帯にふだん住んでいる15才以上の世帯員約192,000人、15才未満の世帯員約62,000人である。

2) 教育程度（学歴）と関連する主要属性が調査項目に含まれている。社会生活基本調査の調査票は、世帯調査票、個人調査票I、個人調査票IIの3種類から成っている。このうち世帯調査票には、性別、年齢、配偶関係、職業、従業上の地位、企業規模、世帯の年間収入、居住地の都市階級など、教育程度（学歴）やその影響力と密接に関連する多くの変数が含まれている。

① 本稿は、総理府統計局『昭和51年社会生活基本調査報告』の第二次分析の結果に関する報告である。これは、国立教育研究所第二研究部が、昭和55年～57年度の特別研究「教育の社会的効果の評価分析」の一環として行なったものである。

② 東京大学大学院生であり上記特別研究研究分担者である。

3) 調査内容が、「生活の質」に関する前例のない大規模な調査であり、本研究の目的に最も近い。前記個人調査票Ⅱは一日の生活時間の調査であり、個人調査票Ⅰは、勉強・研究、趣味・娯楽、スポーツ、奉仕活動、旅行、施設利用、入院・診療などの年間の行動状況に関する調査である。これから成人の社会生活に関する情報が得られる。また、世帯調査票からは、15才未満の子どもの習いごとの状況や、主婦の就業状態に関する情報も得られる。

2. 資料発表の経過

本稿で報告する第二次分析の作業は、総理府統計局労働力統計課の御指導の下、行政管理庁より統計法第15条第2項の規定に基づく承認を得て、57年10月～58年1月にかけて行なわれた。承認にあたって御配慮を賜った関係各位に深く感謝申し上げる次第である。なお、分析の一端は日本教育社会学会第35回大会（58年10月21～23日、於武蔵大学）で「社会生活に及ぼす教育の効果」として発表した。また第二次分析の概略は、『教育の社会的諸側面』（近日刊行予定）のなかに発表した。本稿は、これらの分析の基礎となっている第二次集計結果を、資料集として公表するものである。

II. 分析の手続き

1. 基本属性分類の変更

第二次分析にあたっては、分析目的との関連で、『社会生活基本調査報告』の中の基本属性分類の一部を以下のように変更した。

(1) 年令区分

教育制度の変化（旧制―新制）にあわせて、5つの年令区分を作った……20～35才／36～45才／46～55才／56～65才／65才～。

(2) 総合職業分類（職業・従業者階級による）

職業と従業者階級（企業規模）は、教育程度並びにその効果と密接な関連をもつ基本的要因である。一般に、学歴の影響は官僚制化の進んだ近代セクターにおいて著しいことに注目し、SSM総合職業分類との照合のうえで、以下の6区分にまとめた……自営業層／専門管理職／大企業ホワイトカラー／中小企業ホワイトカラー／大企業ブルーカラー／中小企業ブルーカラー。（図1参照）

(3) 都市階級

地域による学歴構成や生活様式の特性に留意して、4区分の都市階級分類を作った……四大都市圏／地方中核都市／地方中小都市／その他の地域。

2. 集計表の様式

第二次分析の対象者は15才以上（総数、有業男子、有業女子、無業既婚女子）及び15才未満の子ども（総数、6～9才の小学生、10～12才の小学生、12～15才の中学生）の2種類である。

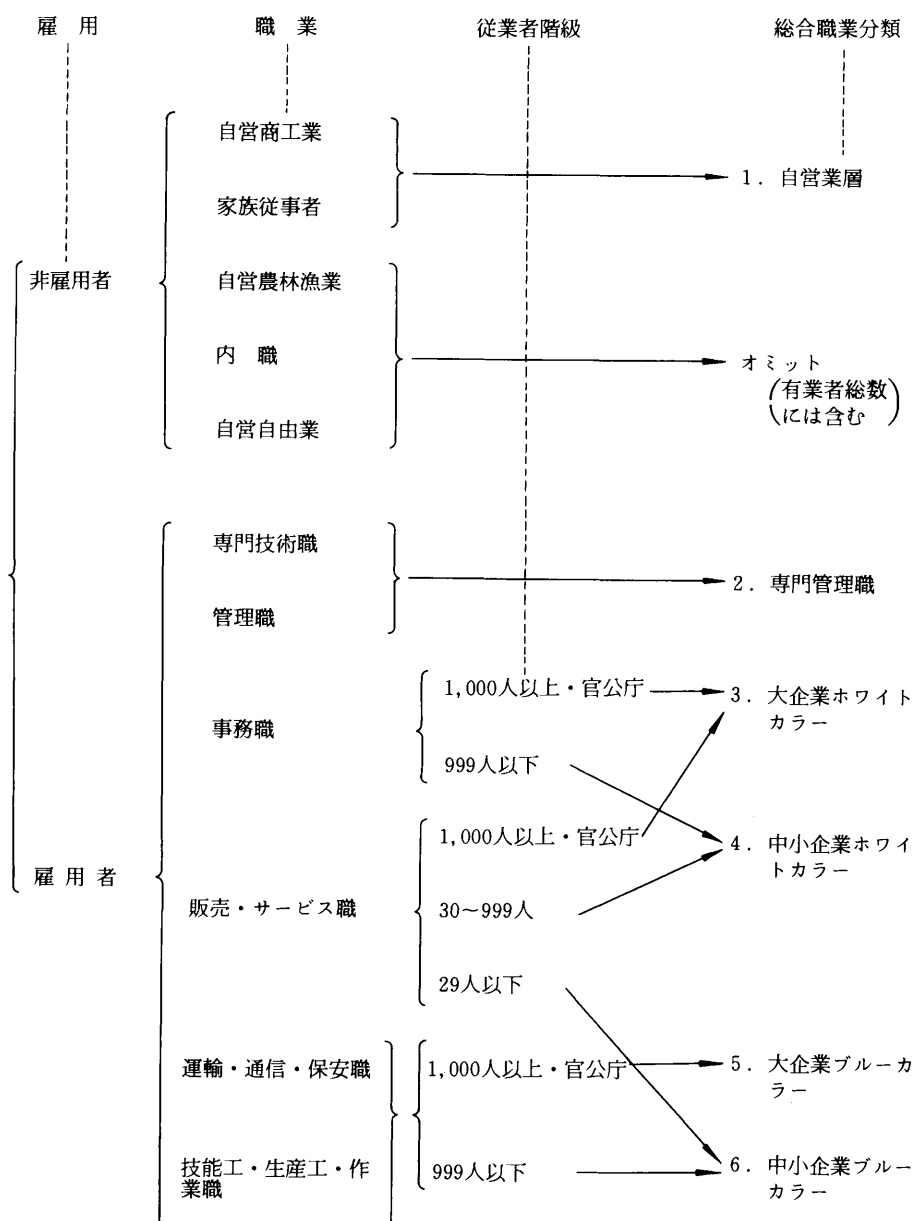


図1 総合職業分類の設定

前者に関しては、都市階級カテゴリー、総合職業分類（有業男子、有業女子は本人の、無業既婚女子は夫の）6カテゴリーのそれぞれについて、以下の表を作成した。

●表側項目（共通）……年令区分5カテゴリー×教育程度3カテゴリー

●表頭項目……行動の種類別平均時間／勉強・研究・内容の構成比／趣味・娯楽およびスポーツの種類／勉強・研究の方法別内容の構成比／入院・診療、施設の利用の行動者率および頻度の構成比／勉強・研究の方法別・行動者率／趣味・娯楽の類型別行動者率／スポーツの類型別行動者率／奉仕的な活動の種類別行動者率

表1 行動の種類別平均時間 (有業男子)

	一 次 活 動	う ち 眠 る	二 次 活 動	う ち 仕 事	三 次 活 動	う ち			三 次 活 動	う ち		
						種 極 的	交 遊	消 極 的		種 極 的	交 遊	消 極 的
(1) 有業男子総数計	10.31	8.07	7.59	7.06	5.14	0.57	0.29	3.51	10.25	8.02	7.58	6.48
20歳	10.26	8.09	8.18	7.19	5.10	1.02	0.33	3.33	10.21	8.05	8.17	7.06
小・中卒	10.37	8.16	8.29	7.39	4.54	0.47	0.28	3.39	10.37	8.16	8.26	7.28
高卒	10.29	8.12	8.17	7.21	5.13	1.04	0.33	3.36	10.24	8.09	8.19	7.11
短・大卒	10.22	8.05	8.15	7.07	5.23	1.26	0.38	3.20	10.14	7.58	8.12	6.57
36歳	10.29	8.06	8.21	7.26	5.08	0.57	0.29	3.44	10.20	7.59	8.08	6.57
小・中卒	10.37	8.10	8.33	7.44	4.49	0.41	0.24	3.45	10.33	8.07	8.29	7.27
高卒	10.28	8.04	8.19	7.23	5.10	0.59	0.30	3.45	10.24	8.03	8.11	7.03
短・大卒	10.19	7.58	7.58	6.48	5.43	1.26	0.39	3.38	10.12	7.53	7.59	6.43
46歳	10.35	8.06	8.06	7.15	5.18	0.53	0.26	4.00	10.25	7.59	7.52	6.42
小・中卒	10.40	8.10	8.17	7.29	5.03	0.41	0.23	3.59	10.34	8.05	8.11	7.08
高卒	10.32	8.05	8.01	7.07	5.27	0.56	0.28	4.03	10.26	8.02	7.53	6.43
短・大卒	10.22	7.54	7.42	6.37	5.55	1.29	0.34	3.53	10.19	7.53	7.41	6.29
56歳	10.53	8.17	7.34	6.47	5.33	0.52	0.24	4.18	10.41	8.04	7.21	6.12
小・中卒	10.58	8.21	7.42	7.01	5.20	0.41	0.21	4.18	10.50	8.14	7.42	6.43
高卒	10.43	8.08	7.29	6.37	5.48	1.03	0.29	4.15	10.39	8.03	7.35	6.24
短・大卒	10.42	8.03	6.49	5.46	6.29	1.37	0.29	4.23	10.36	7.57	6.51	5.35
66歳	11.28	8.47	6.06	5.33	6.27	0.54	0.21	5.11	10.58	8.16	5.57	5.07
小・中卒	11.35	8.54	6.09	5.40	6.16	0.44	0.19	5.13	11.17	8.36	6.03	5.22
高卒	11.10	8.29	5.56	5.21	6.54	1.12	0.25	5.17	10.50	8.06	5.53	5.10
短・大卒	10.59	8.14	5.50	4.58	7.11	1.44	0.26	5.02	10.45	8.04	5.54	4.52
(2) 有業男子自営計	10.44	8.16	8.05	7.41	5.10	0.51	0.29	3.50	10.31	8.11	7.50	6.37
20歳	10.34	8.12	8.33	8.08	4.53	0.55	0.32	3.26	10.29	8.13	7.59	6.47
小・中卒	10.37	8.15	8.35	8.10	4.48	0.44	0.28	3.37	10.36	8.20	8.15	7.03
高卒	10.33	8.12	8.34	8.12	4.52	0.56	0.32	3.25	10.32	8.16	7.52	6.47
短・大卒	10.31	8.08	8.25	8.01	5.04	1.09	0.38	3.17	10.25	8.05	8.05	6.48
36歳	10.32	8.05	8.39	8.15	4.50	0.49	0.32	3.29	10.29	8.09	7.47	6.33
小・中卒	10.33	8.06	8.47	8.24	4.40	0.41	0.28	3.31	10.42	8.16	7.55	6.52
高卒	10.30	8.04	8.40	8.18	4.50	0.51	0.34	3.24	10.28	8.08	7.45	6.32
短・大卒	10.33	8.07	7.52	7.20	5.35	1.19	0.44	3.31	10.28	8.07	7.47	6.28
46歳	10.40	8.09	8.19	7.59	5.01	0.47	0.29	3.46	10.36	8.09	7.35	6.24
小・中卒	10.42	8.12	8.18	8.00	5.00	0.40	0.27	3.53	10.43	8.13	7.29	6.21
高卒	10.40	8.07	8.21	8.01	4.59	0.53	0.32	3.34	10.35	8.12	7.34	6.25
短・大卒	10.29	7.58	8.14	7.46	5.17	1.04	0.34	3.38	10.23	7.53	7.53	6.29
56歳	10.56	8.18	7.35	7.14	5.29	0.52	0.23	4.13	10.45	8.14	7.24	6.16
小・中卒	10.59	8.21	7.34	7.14	5.27	0.48	0.22	4.17	10.50	8.20	7.27	6.23
高卒	10.47	8.11	7.42	7.17	5.31	1.02	0.28	4.02	10.37	8.10	7.20	6.07
短・大卒	10.46	8.13	7.38	7.09	5.36	1.14	0.26	3.57	10.49	8.05	7.20	6.07
66歳	11.39	8.57	5.45	5.26	6.36	0.49	0.21	5.26	10.51	8.04	6.19	5.24
小・中卒	11.43	9.01	5.44	5.26	6.34	0.44	0.20	5.29	11.04	8.05	7.12	6.12
高卒	11.16	8.38	5.47	5.24	6.56	1.11	0.26	5.18	10.43	8.18	5.59	7.17
短・大卒	11.30	8.32	5.51	5.12	6.39	1.08	0.22	5.08	10.23	7.50	4.46	3.50

	一 次 活 動	う ち 睡 眠	二 次 活 動	う ち 仕 事	三 次 活 動	う ち			一 次 活 動	う ち 睡 眠	二 次 活 動	う ち 仕 事	三 次 活 動	う ち		
						積 極 的	交 遊	消 極 的						積 極 的	交 遊	消 極 的
(5) 有業男子中小企業 20歳	10.33	8.11	8.14	7.03	5.13	1.00	0.34	3.38	10.34	8.12	8.26	7.26	4.56	0.46	0.24	3.46
小・中 卒	10.30	8.12	8.22	7.12	5.07	1.38	0.39	3.21	10.32	8.14	8.34	7.35	4.54	0.51	0.29	3.34
高 卒	10.35	8.17	8.40	7.39	4.45	0.47	0.30	3.28	10.37	8.16	8.33	7.38	4.50	0.44	0.27	3.39
短・大 卒	10.32	8.14	8.20	7.15	5.07	1.02	0.37	3.28	10.30	8.13	8.32	7.35	4.58	0.55	0.30	3.34
36歳	10.27	8.09	8.19	7.04	5.14	1.19	0.42	3.11	10.25	8.06	8.45	7.43	4.50	1.03	0.33	3.14
小・中 卒	10.29	8.07	8.20	7.11	5.11	0.52	0.37	3.44	10.37	8.10	8.34	7.34	4.49	0.42	0.21	3.45
高 卒	10.28	8.07	8.46	7.40	4.46	0.46	0.38	3.19	10.40	8.13	8.34	7.35	4.46	0.37	0.20	3.47
短・大 卒	10.29	8.09	8.17	7.10	5.14	0.49	0.35	3.51	10.31	8.05	8.35	7.35	4.54	0.50	0.23	3.41
46歳	10.27	8.01	8.09	6.53	5.24	1.03	0.41	3.40	10.33	8.10	8.14	7.06	5.13	1.03	0.37	3.34
小・中 卒	10.35	8.08	8.02	6.57	5.23	0.53	0.25	4.04	10.40	8.10	8.21	7.21	4.59	0.38	0.18	4.03
高 卒	10.32	8.05	8.11	7.03	5.17	0.46	0.27	4.04	10.42	8.11	8.24	7.24	4.54	0.36	0.17	4.02
短・大 卒	10.40	8.14	8.00	6.59	5.20	0.54	0.23	4.03	10.36	8.06	8.13	7.16	5.11	0.38	0.20	4.12
56歳	10.27	7.59	7.46	6.33	5.47	1.09	0.26	4.12	10.27	8.00	7.27	6.38	6.05	1.23	0.31	4.13
小・中 卒	10.50	8.14	7.39	6.27	5.31	0.56	0.20	4.16	10.47	8.13	8.10	7.05	5.02	0.38	0.16	4.09
高 卒	10.52	8.18	7.54	6.45	5.14	0.48	0.20	4.05	10.49	8.15	8.11	7.06	4.59	0.36	0.15	4.09
短・大 卒	10.43	8.08	7.36	6.21	5.40	0.50	0.23	4.27	10.37	8.03	8.06	7.03	5.17	0.48	0.19	4.10
66歳	10.12	7.56	7.48	6.37	6.00	1.39	0.42	3.39	10.14	7.38	7.40	6.17	6.06	1.11	0.42	4.13
小・中 卒	10.24	8.01	8.03	6.53	5.33	1.09	0.24	4.00	11.07	8.30	7.25	6.26	5.28	0.37	0.10	4.41
高 卒	10.29	8.04	8.11	7.01	5.20	0.58	0.23	3.59	11.09	8.32	7.29	6.29	5.22	0.36	0.09	4.36
短・大 卒	10.18	7.58	7.55	6.45	5.46	1.16	0.26	4.05	10.56	8.19	7.01	6.08	6.03	0.38	0.18	5.06
46歳	10.20	7.50	7.57	6.34	5.43	1.18	0.25	4.01	10.48	8.12	6.25	5.30	6.47	1.27	0.13	5.07
小・中 卒	10.27	7.59	7.54	6.45	5.38	1.03	0.22	4.13								
高 卒	10.29	8.00	7.55	6.45	5.36	1.01	0.22	4.13								
短・大 卒	10.20	7.57	7.53	6.44	5.47	1.08	0.24	4.15								
56歳	10.32	7.59	8.10	6.32	5.17	1.02	0.12	4.03								
小・中 卒	10.41	8.07	7.48	6.38	5.31	0.56	0.19	4.17								
高 卒	10.40	8.10	7.57	6.49	5.22	0.47	0.19	4.15								
短・大 卒	10.45	7.50	7.11	5.57	6.04	1.30	0.22	4.13								
66歳	10.47	8.18	6.39	5.00	6.33	1.41	0.00	4.52								
小・中 卒	10.45	8.12	7.45	6.33	5.30	1.03	0.10	4.17								
高 卒	10.58	8.22	7.44	6.34	5.19	0.58	0.09	4.11								
短・大 卒	8.17	6.22	9.07	7.05	6.37	0.40	0.30	5.26								
～	10.15	7.30	4.15	4.15	9.30	5.15	0.00	4.15								

また、15才未満の子どもについては、都市階級3カテゴリー、家計の年収2カテゴリー、都市階級×家計の年収＝6カテゴリーのそれぞれについて以下の表を作成した。

- 表側項目……父親の職業4カテゴリー×父親の教育程度3カテゴリー／父親の職業4カテゴリー×母親の教育程度3カテゴリー
- 表頭項目……習いごとの行動者率（全体、方法別、種目別）、習いごとの構成比（種目の数別、方法の数別）

最後に、世帯調査表から、家族形成段階3カテゴリー、都市階級3カテゴリー、家計の年収2カテゴリー、及びそれらの組み合わせ18カテゴリーのそれぞれについて、次の表を作成した。

- 表側項目……夫の総合職業分類4カテゴリー×夫の教育程度3カテゴリー／夫の総合職業分類4カテゴリー×妻の教育程度3カテゴリー
- 表頭項目……住居の種類／主婦の就業状態

なお、いずれの集計表についても、調査対象者実数によるウェイトづけしない集計とともに、総理府統計局の集計方法に準じて、加重平均した集計も行なっている。ただし、本稿で提示する数値はすべて前者の集計である。

3. 生活時間の分類

本稿であつかう集計表は、成人有業男子の生活時間についてのものである。『社会生活基本調査報告』にならって、本稿では、国民の生活行動を以下の分類概念のもとに分析する。それぞれに、週平均でみた1日あたりの時間を計算している。

(1) 第一次・第二次・第三次の活動

第一次活動とは、生理的に必要な行動である……睡眠、食事、身のまわりの用事など。**第二次活動**とは、義務的な行動である……仕事、家事・育児、在学者の勉強・研究など。**第三次活動**とは、余暇にかかわる行動である……スポーツ、趣味・娯楽、在学者以外の勉強・研究、奉仕活動、休養など。

(2) 積極的・交遊・消極的活動（第三次活動の分類）

第三次活動のうち、スポーツ、趣味・娯楽、奉仕活動、在学者以外の勉強・研究を**積極的活動**とする。残りの活動を**交遊活動**と、それ以外の**消極的活動**に分ける。消極的活動には、休養・くつろぎ、ラジオ・テレビ・新聞・雑誌、受診・療養、通勤・通学以外の移動などが含まれる。

III. 分析結果

本稿では、成人有業男子の学歴と生活時間との関連について集計結果を表1、表2に示す。

表1の表頭には、各生活行動の1日あたりの平均時間を時間・分の単位で示している。表2の表頭は同じく生活時間であるが、積極的三次活動だけを取りだし、分単位で記している。

クロスした属性として、各表の左肩には、集計対象とした総合職業分類を表示している。表の左

表 2 積極的三次活動の項目別平均時間 (有業男子)

	勉強・研究	趣味・娯楽	スポーツ	奉仕活動	勉強・研究	趣味・娯楽	スポーツ	奉仕活動	勉強・研究	趣味・娯楽	スポーツ	奉仕活動	勉強・研究	趣味・娯楽	スポーツ	奉仕活動			
(1) 有業男子総数計	10	32	10	5	(3) 有業男子専門管理計	23	37	15	4	(5) 有業男子中小企業 ホワイトカラー計	10	36	11	3	(7) 有業男子中小企業 ブルーカラー計	5	30	8	3
20歳	11	36	12	3	20歳	24	40	15	3	20歳	12	40	13	3	20歳	6	33	9	3
小・中卒	4	31	9	3	小・中卒	6	31	9	3	小・中卒	6	31	8	2	小・中卒	3	30	8	3
高卒	10	37	13	4	高卒	12	42	14	3	高卒	8	37	13	4	高卒	7	35	10	3
短・大卒	26	40	16	4	短・大卒	39	40	17	4	短・大卒	18	44	14	3	短・大卒	15	33	10	5
36歳	10	30	12	5	36歳	23	35	18	4	36歳	8	29	11	4	36歳	3	27	8	4
小・中卒	3	26	8	4	小・中卒	8	32	11	5	小・中卒	4	32	6	4	小・中卒	2	25	7	3
高卒	9	32	13	5	高卒	14	36	16	4	高卒	6	28	11	4	高卒	5	30	10	5
短・大卒	27	34	20	5	短・大卒	35	35	21	4	短・大卒	16	30	14	3	短・大卒	9	30	17	7
46歳	11	29	8	5	46歳	24	35	12	4	46歳	7	36	7	3	46歳	3	27	4	4
小・中卒	4	26	5	6	小・中卒	9	33	9	6	小・中卒	4	36	3	3	小・中卒	2	26	4	4
高卒	10	31	10	5	高卒	14	34	13	4	高卒	7	35	9	3	高卒	5	25	4	4
短・大卒	34	37	13	5	短・大卒	40	38	14	3	短・大卒	14	41	13	1	短・大卒	11	51	16	5
56歳	8	30	7	7	56歳	20	39	11	6	56歳	7	36	9	4	56歳	4	27	4	3
小・中卒	3	27	5	6	小・中卒	6	36	7	5	小・中卒	3	34	5	3	小・中卒	3	26	4	3
高卒	9	36	9	9	高卒	10	39	12	6	高卒	6	34	7	3	高卒	8	32	6	2
短・大卒	37	39	14	7	短・大卒	40	41	13	5	短・大卒	14	42	24	7	短・大卒	26	27	1	17
66歳	9	31	6	8	66歳	26	43	13	12	66歳	11	28	5	7	66歳	4	26	3	4
小・中卒	5	28	5	6	小・中卒	7	37	13	13	小・中卒	12	23	8	5	小・中卒	3	26	3	4
高卒	12	38	10	12	高卒	11	34	18	17	高卒	4	35	3	11	高卒	5	30	6	6
短・大卒	38	46	9	11	短・大卒	52	55	9	8	短・大卒	20	26	3	6	短・大卒	34	49	1	3
(2) 有業男子自営業計	6	29	10	6	(4) 有業男子自営業 ホワイトカラー計	13	40	16	4	(6) 有業男子自営業 ブルーカラー計	10	43	14	5					
20歳	8	31	11	5	20歳	14	42	17	3	20歳	13	44	18	4					
小・中卒	3	29	8	4	小・中卒	9	29	13	3	小・中卒	7	44	16	3					
高卒	8	30	12	6	高卒	11	42	18	3	高卒	13	45	18	4					
短・大卒	17	35	13	4	短・大卒	19	43	18	2	短・大卒	33	36	26	4					
36歳	5	27	12	5	36歳	11	36	17	5	36歳	9	41	13	6					
小・中卒	3	26	8	4	小・中卒	8	43	14	4	小・中卒	6	38	10	6					
高卒	6	26	13	6	高卒	11	35	18	5	高卒	11	43	16	6					
短・大卒	13	33	25	8	短・大卒	24	42	19	3	短・大卒	14	43	17	4					
46歳	6	24	9	8	46歳	12	38	10	4	46歳	8	42	8	5					
小・中卒	5	22	6	7	小・中卒	8	40	10	4	小・中卒	7	41	8	5					
高卒	7	26	12	8	高卒	11	36	11	3	高卒	9	45	9	5					
短・大卒	15	25	15	9	短・大卒	24	42	7	4	短・大卒	22	38	1	1					
56歳	5	32	7	8	56歳	10	47	8	4	56歳	4	40	7	5					
小・中卒	3	31	7	7	小・中卒	6	47	6	3	小・中卒	3	36	5	3					
高卒	8	36	8	10	高卒	13	46	12	6	高卒	7	40	5	16					
短・大卒	21	29	14	10	短・大卒	23	54	4	0	短・大卒	10	24	12	5					
66歳	5	32	6	6	66歳	5	37	7	3	66歳	13	28	6	16					
小・中卒	4	30	5	5	小・中卒	0	20	9	3	小・中卒	5	28	7	18					
高卒	9	41	10	11	高卒	12	71	3	3	高卒	5	35	0	0					
短・大卒	13	37	8	10	短・大卒	11	44	6	3	短・大卒	3.15	0	0	0					

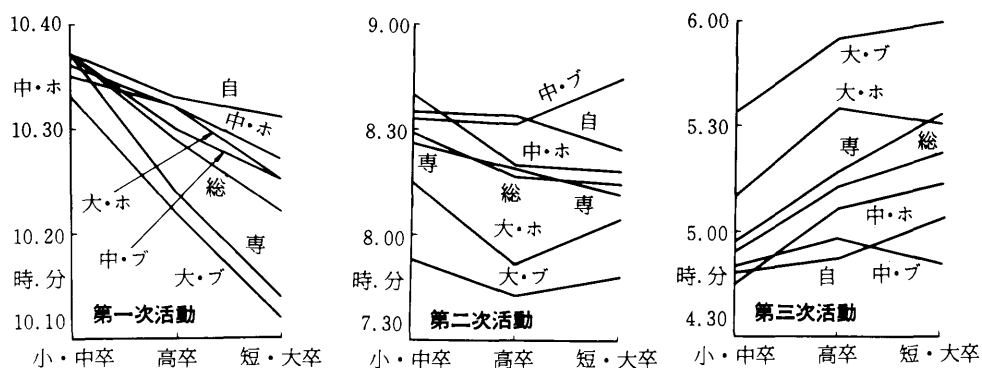


図2 生活行動の種類別平均時間 (有業男子20~35歳)

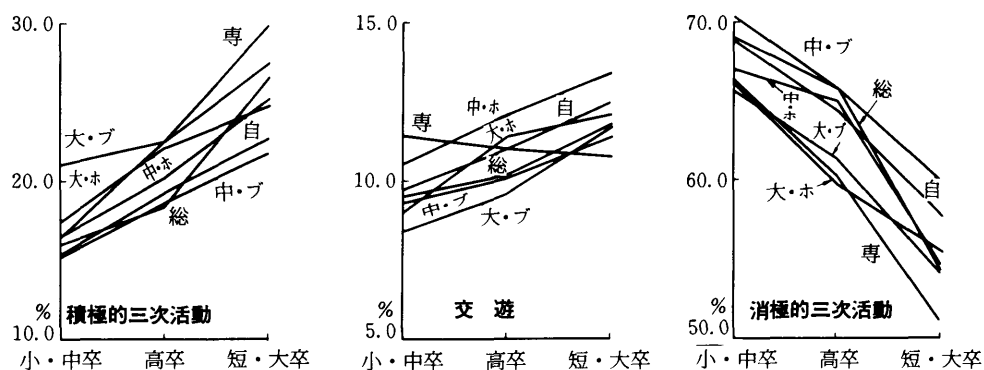


図3 三次活動の種類別構成比 (有業男子20~35歳)

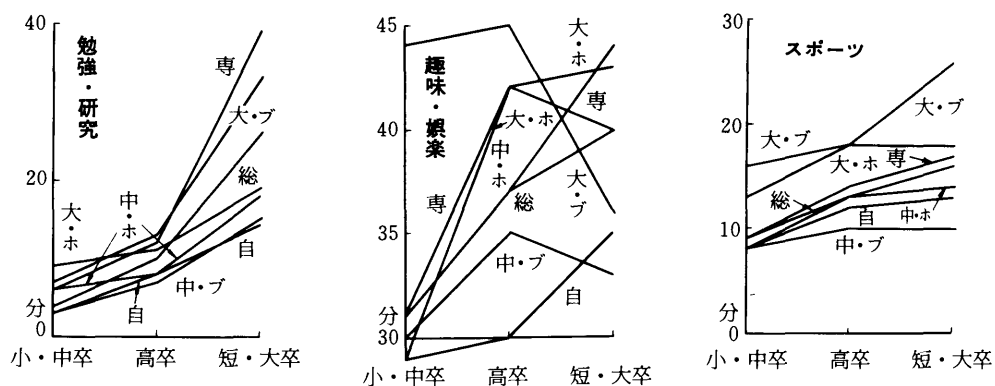


図4 積極的三次活動の項目別平均時間 (奉仕活動は除く, 有業男子20~35歳)

側には、各年令区分内での学歴（卒業者の最終卒業学校）分類を示している。

表1(1)～(7)にみるように、一次、二次、三次活動の平均時間は、短大・大学卒の者が他の学歴の者と比べて一次・二次活動が少なく三次活動が多くなる傾向にある。しかしまた同時に、性別、年令別、職業別、従業者階級（企業規模）別にみた差も大きく、学歴別にみた差は必ずしも学歴の独自の影響・効果を表わしていない。そこで、これらの要因をコントロールした結果からみると、ほぼどの総合職業分類に於ても、またどの年令区分に於ても、高学歴者ほど三次活動の時間が増え、一次・二次活動が減るのが観察できる。図2はそのうち20～35才有業男子について図示している。

第三次活動を、積極的・交遊・消極的の3分類にわけてみると、高学歴者ほど積極的三次活動や交遊の比率が増え、消極的三次活動の比率が減ってきている。この傾向は、ほぼどの年令区分・総合職業分類に於ても観察できるが、そのうち20～35才の有業男子についての結果を図3に示す。

さらに、積極的三次活動だけを取りだし、項目別平均時間（単位は分）をみたものが表2(1)～(7)である。同様にして、ほぼどの年令区分・総合職業分類に於ても、高学歴者で増えている積極的三次活動の内容といえば、勉強・研究や趣味・娯楽、およびスポーツの時間である。とりわけ勉強・研究時間の増えかたが著しい。図4はそのうち20～35才の有業男子について示したものである。

以上の多重クロス分析の結果は、年令・総合職業分類のコントロールによって、ある程度まで他の職業条件（地位や収入）をもコントロールしたものと考えることができる。そうしてみると、教育は客観的な職業条件を左右しているばかりでなく、主体的な生活時間の配分のしかたにも影響を及していると言える。つまり、教育は人々の生活のなかで、生理的に拘束された行動や社会的に義務づけられた行動に割かれる時間を減らし、勉強・研究などの積極的活動のために用いられる余暇時間を増やす効果をもっている。

なお、以上のような傾向は、有業男子だけでなく、有業女子や無業既婚女子についても同様に指摘できる。また勉強・研究の目的についても、学歴別の特色がある。これらの分析結果については、今後資料集として逐次公表していく予定である。

註 自＝自営業 専＝専門・管理

大・ホ＝大企業・ホワイトカラー

中・ホ＝中小企業・ホワイトカラー

大・ブ＝大企業・ブルーカラー

中・ブ＝中小企業・ブルーカラー